



どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

川幅を拡げて流せる水の
量を増やしました。

地元の声

・大雨が降ると河川が氾濫して住宅が浸水しないかととても心配。（地元住民）

事業前

◆川の断面が小さく、洪水時に浸水被害が発生するおそれがありました。



事業前の状況

事業後

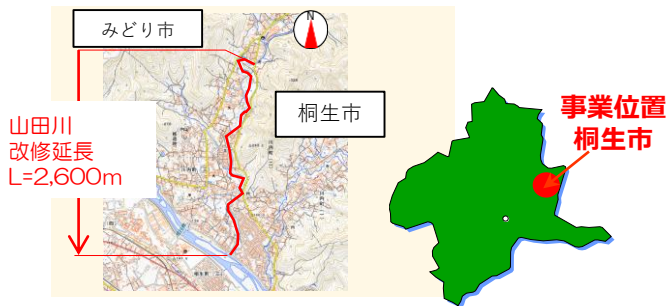
◆川幅を広げることで、流せる水の量を増やし、河川の氾濫による被害のリスクを軽減しました。



事業後の状況

事業の概要

- 事業箇所：桐生市川内町
- 事業内容：河川拡幅 延長 2,600m
- 事業期間：昭和61年度～令和5年度



事業の進捗状況（令和5年度完了）

今、何をしているか

令和5年度に河川改修が完了しました。

